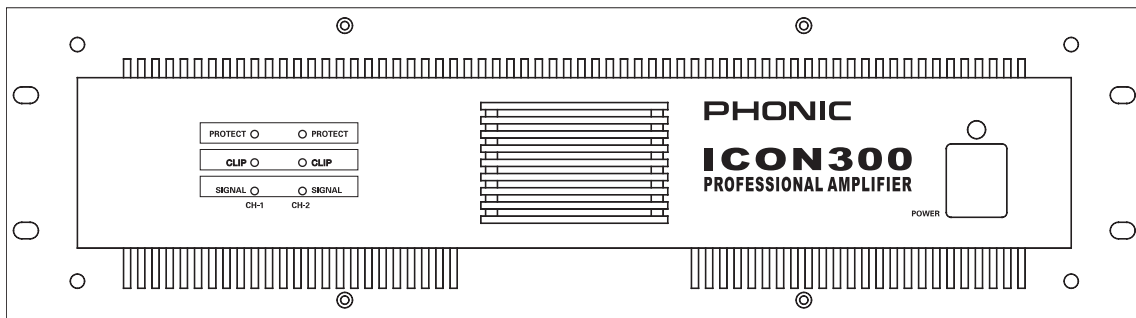


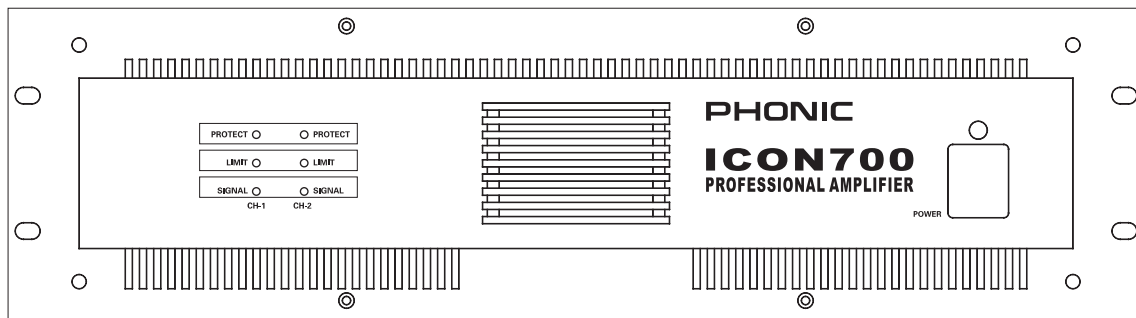
PHONIC

ICON300/ICON700

CONTRACTOR POWER AMPLIFIER



ICON300



ICON700

取扱説明書

ICON300/ICON700

CONTRACTOR POWER AMPLIFIER

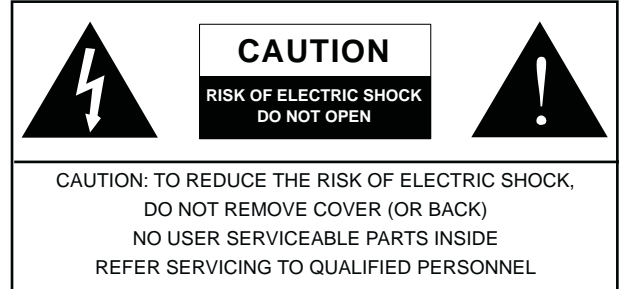
CONTENTS

本書について	3
基本性能	3
ご使用上の注意	3
フロントパネル	4
リアパネル	4
バランスバリアストリップ入力の接続	5
バリアストリップ出力接続	5
オーディオトランス出力	5
パラレルモノラルモード	6
仕様	7
ダイヤグラム	8

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

本書について

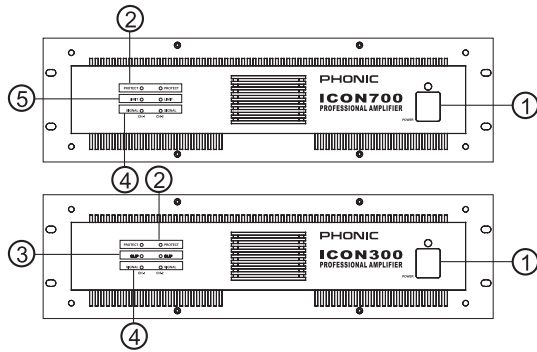
パワーアンプの取り扱いには細心の注意が必要です。装置の接続と運転を行う前に、必ず本書をお読みください。また、いつでも手にとって見られるように、本書を安全な場所に保管しておいてください。

基本性能

- 自動2段可変速、高性能冷却ファン
- ステレオ、ブリッジ、またはパラレル動作モード
- XLRおよびバリアストリップ入力
- マルチアンプ動作および信号パススルー対応XLR入出力
- ショート、高温、およびDCオフセットに対する万全な保護機構
- バリアストリップ接続に基づく出力モード - 25V、70V、100V、および直接出力を同時に使用可能
- 電氣的完全分離が可能なトロードル出力トランス
- 45Hzサブソニックフィルター内蔵

ご使用上の注意

- アンプの電源をオンにする際、ケーブルや接続の不良が原因で製品の損傷や異音が発生しないように、アンプ及び接続機器のボリュームがすべて最小値になっていることを確認して下さい。ボリュームを上げる際には、正常に動作することが確認できるまで、徐々に上げて下さい。
- Icon 300/700アンプからは、極めて高い電圧が出力される場合があります。感電を防ぐため、出力端子にカバーが取り付けられていることを確認してください。また、アンプ起動中に、むき出しのスピーカーケーブルには絶対に触れないで下さい。



フロントパネル

1. POWERスイッチ

電源をオン・オフします。LEDインジケータ付きです。

2. PROTECT LEDインジケータ

Icon 300/700には、電源オン時、または異常発生時に回路の損傷を防ぐため、複数の保護機能が搭載されています。アンプの各セクションに対して保護機能が作動した際にLEDが点灯します。この場合、正常な動作状態に回復するまで、電源出力はオフになります。

- ・**スピーカー保護**: 電源オン時の保護により、通電時にスピーカーの損傷の原因となる突発的なノイズを防ぎます。
- ・**ヒートシンクの熱保護**: アンプがオーバーヒートした場合、温度が安全なレベルに低下するまで、過熱シャットダウンにより回路を保護します。
- ・**ショート保護**: PROTECT LEDインジケータは、スピーカー端子がショートした場合や、負荷インピーダンスが低すぎる場合にも点灯します。このような場合、不具合が解消されるまで、PROTECT LEDは点灯し続けます。

保護機能が作動している状況によっては、アンプの電源を一旦オフにしてからオンにすると、正常な動作状態に回復する場合があります。

3. CLIP LEDインジケータ (Icon 300のみ)

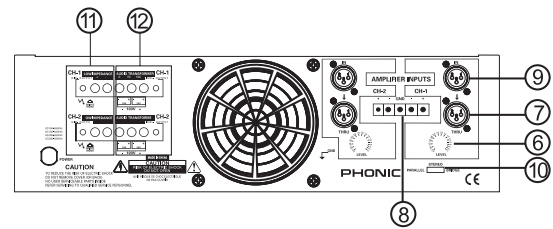
クリッピング状態のときに点灯し、過度な負荷など、何らかの状況が発生し、アンプに問題が生じていることを示します。このインジケータが頻繁に点滅する場合や、長時間点灯したままの場合は、ボリュームつまみを下げて、Iconアンプに入力される信号レベルを調節して下さい。それでも解消しない場合は、出力ケーブルとスピーカーを確認して下さい。

4. SIGNAL LEDインジケータ

Icon 300/700の各チャンネルに音声信号が入力されていることを示すLEDインジケータです。

5. LIMIT LEDインジケータ (Icon 700のみ)

Icon 700には、各チャンネルにクリッピング防止用リミッターが内蔵されています。クリッピングを引き起こすほど高いレベルの信号が検出された場合(チャンネル単位の出力が400Wを超える場合など)、リミッターが瞬時に作動し、入力信号レベルをクリッピングが発生しないレベルに調整します。このような現象が発生すると、このLEDが点灯します。



リアパネル

6. ゲインレベルコントロール

チャンネル1と2のゲインレベルを調整します。

7. CH1/CH2入力用XLRコネクタ (THRU)

ミキサーやプリアンプなどへのバランス接続用端子です。

8. バランスバリアストリップ入力 (GND)

機器を固定または長期間設置する場合に最適なオプションです。空気に触れて酸化しないよう、しっかりと奥まで接続します。接続が緩んだ部分でショートが発生しないように注意してください。

9. CH1/CH2パラレルパススルーXLRコネクタ (IN)

別のIconアンプやその他メーカーのアンプへのパラレル接続する際に使用します。

10. ステレオ/パラレル/ブリッジスイッチ (STEREO/PARALLEL/BRIDGE)

ステレオ動作では、アンプのチャンネル1と2でそれぞれ個別に信号を処理します。

パラレル動作では、1つの信号がアンプのチャンネル1と2の両方で処理されます。

ブリッジ動作では、2倍の出力で駆動するよう設定されます。

このスイッチをアンプ起動中に変更しないで下さい。アンプの電源がオンになっているときに使用すると、スピーカーの部品が損傷する可能性があります。

11. 出力コネクタ (LOW IMPEDANCE)、CH1/CH2

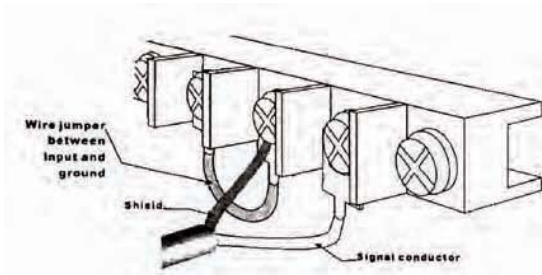
低インピーダンスのスピーカーを接続するためのバリアストリップです。接続が緩んだ部分でショートが発生しないように注意して下さい。

12. オーディオトランス出力 (AUDIO TRANSFORMER)、CH1/CH2

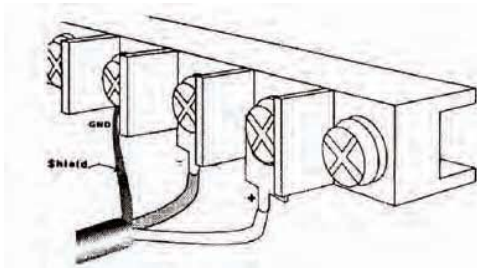
配電線 (25V、70V、100V、140V、および200V) を接続するためのバリアストリップです。接続が緩んだ部分でショートが発生しないように注意して下さい。

バランスバリアストリップ入力の接続

バランス接続 - 図のように接続します。マークに従って(+)側の線と接地線を端子ピンに接続します。



アンバランス接続 - 図のように入力信号線を接続します。先端の非反転(+)入力端子と接地端子を使用します。また、反転(-)入力と接地端子の間に配線ジャンパーを接続します。配線ジャンパーは、フローティングアンバランス入力によって引き起こされるゲインの減衰を防ぎます。



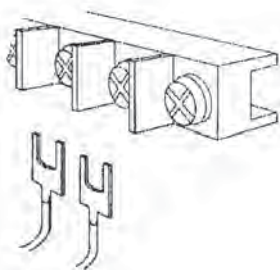
入力感度 - 次のレベルの音声信号では、8Ωでフルレートの出力が生じます。

ICON 300 - 1.02ボルト (+2.4dBu)
 ICON 700 - 1.02ボルト (+2.4dBu)

バリアストリップ出力接続

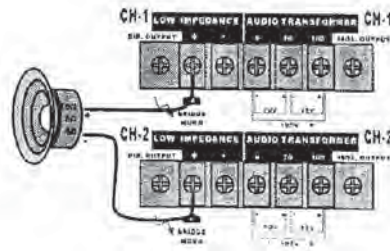
背面パネルにあるバリアストリップを使用すると、スピーカーケーブルをアンプ出力に接続できます。スピーカーおよび配電線(23、70、または100V)を接続する場合の詳細については、図を参照してください。図のようなタイプの絶縁コネクタを推奨します。

出力の接続を変更する前には、アンプの電源がオフになっていることを必ず確認してください。

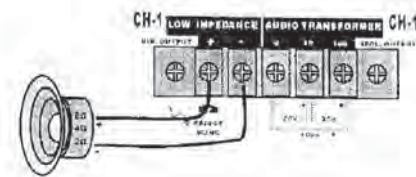


端子のネジを緩めて、配線コネクタをネジの下になるように挿入します。端子のネジを締めます。

ダイレクト ローインピーダンス:



Icon 300/700の接続、モノラルブリッジモード



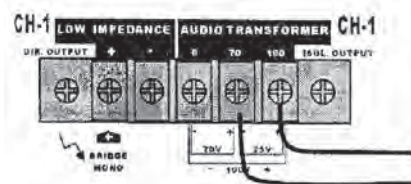
Icon 300/700の接続、ダイレクトローインピーダンス

ダイレクト出力のモノラルブリッジ構成

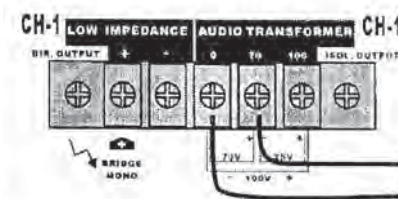
1. ブリッジモードに設定します。
2. 信号をチャンネル1の出力にのみ接続します。入力信号をチャンネル2に接続しないでください。
3. チャンネル1のゲインつまみを使用してレベルを設定します。アンプが動作したときに、チャンネルの信号インジケータとクリップインジケータの両方が同様に点滅します。

オーディオトランス出力

すべてのスピーカーの電力設定の合計値がアンプの定格出力を超えていないことを確認して下さい。安全策として、20%のマージンを確保しておくことをお勧めします。たとえば、アンプの定格出力が300Wである場合は、配電線に対するスピーカー負荷の合計値が240W未満になるように設定することをお勧めします。



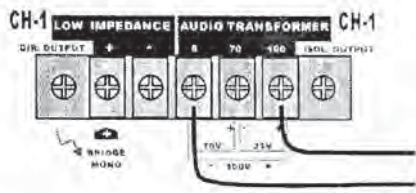
25Vライン出力の接続



50Vライン出力の接続

パラレルモノラルモード

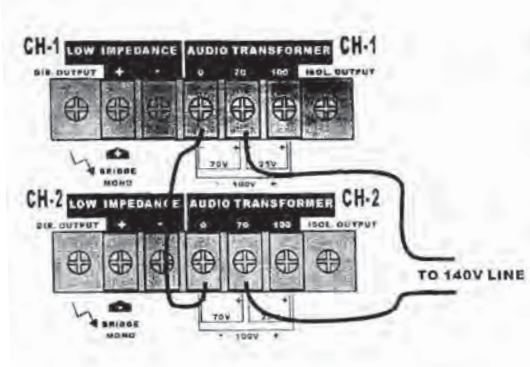
パラレルモードでは、2つのチャンネル入力を束ねて、両方を同じ信号で駆動します。この場合、外部ジャンパーや配線を使用する必要はありません。入力以降は、両方のチャンネルは独立して動作します。両方のチャンネルで搬送している信号は同じですが、チャンネルのゲインつまみはそれぞれのチャンネルに対してのみ影響を及ぼすため、それぞれ別に調整する必要があります。スピーカー出力をパラレル接続しないでください。



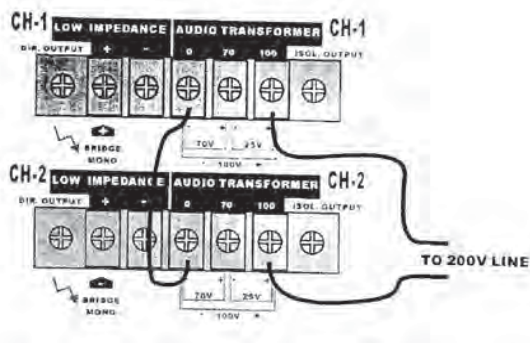
100Vライン出力の接続

オーディオトランス出力のブリッジモノラルモード

1. 140Vまたは200V配電線を駆動する場合、アンプはブリッジモノラルモードに設定する必要があります。
2. 信号をチャンネル1の出力にのみ接続します。入力信号をチャンネル2に接続しないでください。
3. チャンネル1のゲインコントロールのみを使用してレベルを設定します。アンプが動作したときに、チャンネルの信号インジケータとクリップインジケータの両方が同様に点滅します。



140Vライン出力の接続、ブリッジモノラルモード



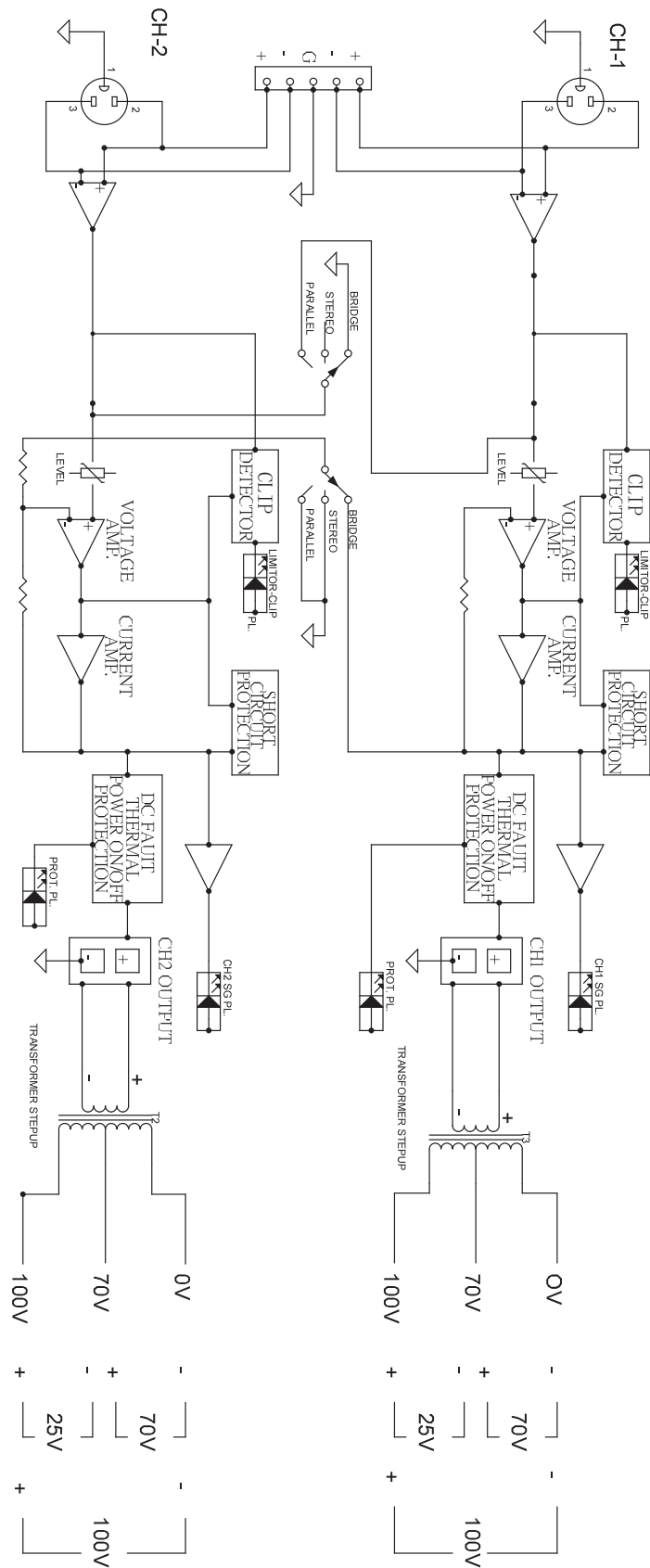
200Vライン出力の接続、ブリッジモノラルモード

仕様

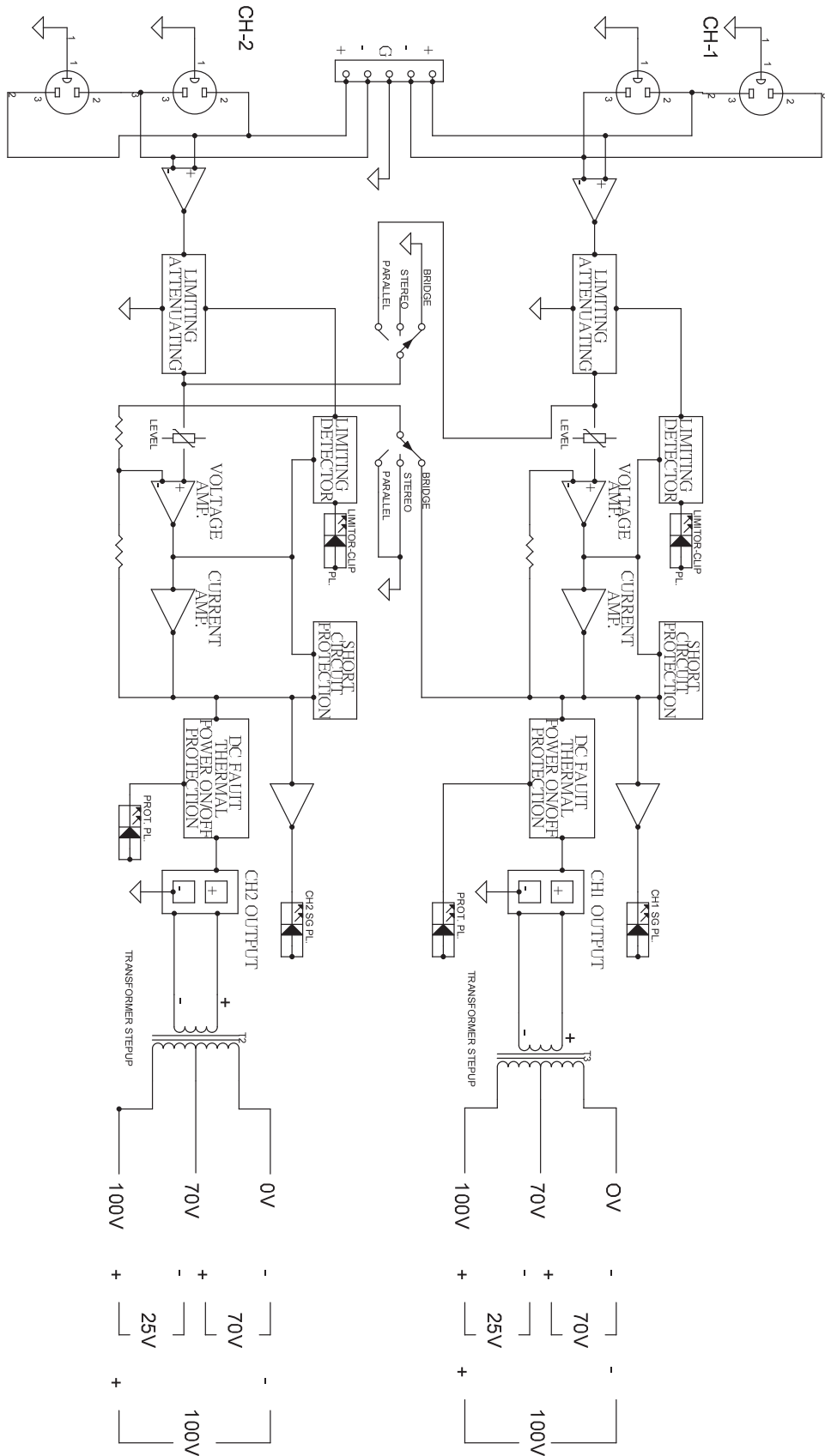
	ICON 300	ICON 700
出力：		
平均最大出力 (@45Hz~20kHz、THD 0.1%)		
8 Ω	120W×2	240W×2
4 Ω	200W×2	400W×2
2Ω、1kHz、1%THD	300W×2	550W×2
ブリッジモノラル出力8Ω、1kHz、1%THD	420W	850W
ブリッジモノラル出力4Ω、1kHz、1%THD	540W	1100W
定電圧出力 (絶縁)		
200Vまたは140Vブリッジ	300W	700W
100Vまたは70V	150W×2	350W×2
25V	120W	280W×2
周波数応答：		
直接出力 (+0/-2dB)	50Hz-50kHz	
絶縁された出力 (+0/-2dB)	50Hz-16kHz	
合計高調波歪み	<0.05	<0.05
感度 (フル出力時)	1.02V	1.02V
電圧ゲイン	28dB	32dB
入力インピーダンス：		
バランス/アンバランス	20k/10kΩ	
減衰係数	>200 (直接出力)	
S/N比	100dB未満の定格出力 (20Hz~20kHz)	
保護回路	出力オフセット電圧保護 ヒートシンクのオーバーヒート保護 トランスのオーバーヒート保護 負荷ショート保護 電源オン/オフ保護	
コントロール：		
フロントパネル	電源スイッチ	
リアパネル	Ch1およびCh2のゲインつまみ (41クリック) ; パラレル/ステレオブリッジのスイッチ	
コネクタ		
入力	XLRジャック×2、バリアストリップ×1	
出力	カバー付きバリアストリップ×2、ヘビーデューティ型バイディングポスト	
冷却	2段変速ファン×1	
インジケータ	クリップ：赤、信号：緑、 保護：黄、電源：赤	リミット：赤、信号：緑、 保護：黄、電源：赤
サイズ (W×H×D)	132×480×428mm	132×480×428mm
重量	24.3kg	24.3kg
梱包材込重量	26kg	26kg

ダイアグラム

ICON 300



ICON 700



PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/